

常任委員会の審査

各常任委員会を開き、本会議で付託された議案および請願の審査を行いました。審査結果は各常任委員会の委員長が、23日の本会議において報告しました。

総務 常任委員会

5年度一般会計補正予算など議案4件と、4年度一般会計歳入歳出決算など認定6件について審査しました。審査の過程で、移住支援金の大幅な増額補正の要因や、交通指導員のイベント開催時における負担軽減などについて質疑がありました。いずれも可決・認定すべきものと決まりました。

【議案第92号】

令和5年度盛岡市一般会計補正予算（第4号）

問 移住支援金の補正予算額が約4300万円であり、当初予算額の940万円と比較すると4倍以上にもなる増額となった要因は。

答 コロナ禍において、都会に住んでいなくてもリモートで仕事ができるようになったことや、地方移住への関心が高まったことや、3年度から移住支援金の支給要件として、テレワークを利用した移住についても支給対象となったことから大幅な増額となった。

【認定第1号】

令和4年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問 交通指導員は減少傾向で高齢化も進んでおり、盛岡秋まつりなどのイベント開催時における活動の負担が非常に大きい。持続可能な活動のために検討が必要では。

答 5年度の盛岡秋まつりの山車運行の際は、山車推進会に交通誘導をしてもらうなど交通指導員の負担軽減を行った。イベントで交通指導員の動員依頼があった際は、申請段階で協議し、交通指導員の負担軽減に努めたい。



交通指導員の負担軽減を

教育福祉 常任委員会

5年度一般会計補正予算など議案7件と、4年度一般会計歳入歳出決算など認定5件について審査し、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。また、請願8件を審査し、2件は採択すべきもの、1件は不採択とすべきもの、5件は引き続き調査検討を要するため、継続審査と決まりました。

【認定第1号】

令和4年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問 本市の医療的ケア児等コーディネート配置事業の対象となる医療的ケア児の人数と4年度事業の実績、具体的な対応事例は。

答 医療的ケア児は5年9月現在で57人となっている。4年度の相談件数は延べ68件、相談実人員が16人であった。就学支援の相談を行っているほか、市担当課と接点のない医療的ケア児を訪問し、把握したニーズや状況などを市内で共有するなどしている。



市立病院前未利用地の活用を

【認定第15号】

令和4年度盛岡市病院事業会計決算について

問 市立病院前にある未利用地の活用について、これまでの検討状況と今後のスケジュールは。

答 4年度に未利用地の検討委員会を設置し、3回開催した委員会では、医療や介護のマーケット調査、サウンディング調査などを行った。5年度は2回目のサウンディング調査が終了しており、3回目の調査を実施する予定である。6年度には具体的な契約などのスケジュールを考えている。

産業環境 常任委員会

5年度一般会計補正予算など議案2件と、4年度一般会計歳入歳出決算など認定4件について審査しました。審査の過程で、貸切観光バス事業者支援金の給付実績と5年度の給付見込みや有害鳥獣被害額などについて質疑がありましたが、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。

【議案第92号】

令和5年度盛岡市一般会計補正予算（第4号）

問 燃料費高騰により大きな負担が生じている観光事業者に、観光バス1台当たり4万円を給付しているが、4年度の給付実績と5年度の見込みは。

答 市内に本社または営業所を有する貸し切り観光バス事業者の車両が対象であり、4年度上半期は126台に504万円を、下半期は135台に540万円を給付した。5年度上半期は、216台に866万円の給付を見込んでいる。

【認定第1号】

令和4年度盛岡市一般会計歳入歳出決算について

問 有害鳥獣による被害は年々増加しており、早急な対策が必要だが、4年度の被害額と、今後の個体数を減らすための取り組みは。

答 有害鳥獣による農作物被害額は4729万9800円である。県や市で捕獲頭数の目標を設定しているが、猟友会や自治体職員の人手が不足している状況であり、被害を減らすためにICT技術の活用などについて、産学官連携での取り組みを検討している。



有害鳥獣への早急な対策を

建設 常任委員会

5年度一般会計補正予算など議案4件と、4年度一般会計歳入歳出決算など認定6件について審査しました。審査の過程で、新技術を利用した橋梁修繕の費用削減効果や下水道事業の今後の見通しなどについて質疑がありましたが、いずれも可決・認定すべきものと決まりました。

【議案第92号】

令和5年度盛岡市一般会計補正予算（第4号）

問 市橋梁長寿命化修繕計画には、4年度に新技術の工法で補修し費用削減を見込んでいるとあるが、新技術活用による費用削減の効果はあったか。

答 文化橋の修繕で、劣化しているコンクリートに薬剤を注入する新技術の工法を導入し、費用の削減が図られた。新技術の導入により、橋の健全な部分を傷めることなく工事を進めることができるメリットがあった。



橋梁の修繕が行われた文化橋

【認定第14号】

令和4年度盛岡市下水道事業会計決算について

問 下水道事業の決算において、毎年度収益が減少しており、いずれ下水道使用料の改定が必要と考えるが所見は。

答 平成22年度の下水道使用料の改定からさまざまな経営努力を続けてきたが、人口減少や施設の老朽化に加え、県流域下水道維持管理負担金が増加し経営環境が厳しい。市民などへの丁寧な説明を心掛け、7年4月の使用料改定に向け準備を進めている。

議会活動レポート

4つの特別委員会を設置

市政課題を重点的に調査するため、4つの特別委員会を設置しました。設置した委員会と委員は次のとおりです。（◎委員長 ○副委員長）

子ども・子育て特別委員会

◎小笠原秀夫 ○寺長根 浩
鈴木 真吾 庄子 春治
中村 雅幸 櫻 裕子
池野 直友 竹田 浩久
天沼 久純 大畑 正二

公共交通対策特別委員会

◎神部 伸也 ○千葉 順子
佐藤 尚弘 野田 尚紀
太田 隆司 中村 亨
藤澤 由蔵 高橋 和夫
菊田 隆 中村 一

農商工連携特別委員会

◎浅沼 克人 ○鈴木 聖子
佐藤 明彦 後藤百合子
鈴木 努 工藤 健一
伊勢 志穂 村田 芳三
豊村 徹也

環境保全対策特別委員会

◎野中 靖志 ○山崎 智樹
遠藤 政幸 縄手 豊子
田山 俊悦 細川由香里
三村亜美子 千葉 伸行
兼平 孝信

各常任委員会が勉強会を実施

議員改選に伴い、各常任委員会が所管する事業について勉強会を行いました。市の事業の現状や課題など、各担当部署から説明を聞きました。

新議員研修会を実施

9月19日、20日に令和5年市議会議員選挙に当選した新議員12人を対象に研修会を行いました。市の総合計画の概要や予算について担当からそれぞれ説明を受けました。また、道の駅もりおか浜民の建設現場やいわて盛岡ボールパークなど市内施設を視察しました。



新たなまちづくりの拠点施設などを視察

(左：道の駅もりおか浜民建設現場 右：いわて盛岡ボールパーク)

緊急事態発生時避難訓練を実施

【市議会避難訓練実施の経緯】

平成23年3月の東日本大震災を始め、平成25年8月の豪雨や平成26年4月の玉山区林野火災などに見舞われ、想定外の規模の災害と被害が発生しうる教訓を得たことから、市議会では、防災対策特別委員会および危機管理・災害対策特別委員会の調査・報告に基づき「盛岡市議会災害時における対応の指針」を平成26年9月30日に制定しました。災害発生時にこの指針に基づく対応が取れるよう、これまで平成26、29年、令和元、4年に訓練を実施しています。



市議会では、10月23日の本会議終了後、本会議開会中に大地震などの緊急事態が発生した場合における傍聴者、議員および職員の傍聴席や議場からの避難の手順などを確認することを目的に、緊急事態発生時避難訓練を実施しました。

- ① 安全確保…議席などのヘルメットと軍手を着用
- ② 避難開始…事務局職員の誘導により議場の外へ避難
- ③ 避難完了…点呼を行い、全員の避難を確認
- ④ 訓練講評…中村盛岡中央消防署長および吉田危機管理統括監からの講評

【講評の主な内容】

避難時の階段移動時に転倒防止のため意識して手すりを使うこと、火災などの訓練を検討すること、災害時に自分の安否を知らせる人の優先順位などをシミュレーションすることなどの助言を受けました。

市長挨拶

8月の市長選挙で当選した内館茂市長から本会議初日に、これからのまちづくりや各種施策の方針となる市長挨拶が行われました。主な内容は次のとおりです。



内館茂市長による挨拶

市民の皆様から寄せられた期待に応えるため、盛岡に生まれ、住み続けて良かったと思えるまちを市民の皆様と一緒に創っていききたい。

コロナ禍を経て、人々の意識・行動に変化が生じた。この機を捉え、積極果敢に様々な施策を打ち出すことが求められており、市民の期待も大きい。新しい盛岡、「より優しく、より強い盛岡」を創るという決意を新たにしている。

「より優しい盛岡」については、子どもたちや子育て世代のためになる効果的な支援、具体的には、延長保育や病児保育の拡充やサポートの取組内容、学校給食の完全実施などについて検討を進める。

また、子どもたちの多様な学びを支援するとともに、「いじめゼロ」に向けた相談窓口を設置するなど、苦しい思いをしている子どもたちに寄り添っていく。

人生の先輩世代が住み慣れた地域で暮らすという希望がかなえられるよう、自動運転時代の到来を見据えた実証実験の検討、在宅医療拡充を進めるためのプロジェクトチームの設置などを進めたい。

本市の実情に即した人口対策の鍵となるのが「より強い盛

岡」であり、地元経済を強くするためには、経営感覚を生かし、冷静かつ果敢に将来への投資を行う必要がある。

まず、地元企業の上場支援や、企業誘致、活発な起業を促進する。地元企業の売上げや利益アップについても、事業者から直接意見を伺いながら検討する。

また、雇用を生み出し、域外資金を獲得する力のある製造業や物流業の集積を図るため、積極的な企業誘致や産業等用地の整備を推進するとともに、農林業の担い手を対象とした育成支援に取り組み、バランスの取れた産業構造を構築する。

これらの取組の推進に当たっては、私の市政運営の柱である市民との対話を大切にしたい。支援が本当に必要な方に届くよう、現場の声を丁寧に伺う場を設ける。

これからの4年間、新しい視点を取り入れ、市民の皆様が将来にわたって幸福を享受できる、選ばれるまちを創り上げていくため、盛岡を創ってきていただいた先輩方への感謝の気持ちを忘れることなく、全力を尽くしたい。

議員各位をはじめ、市民の皆様の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。



挨拶全文